

各 位

ISO 14001 全社統合認証取得について

2001年1月9日

日本特殊陶業株式会社
取締役社長 金川重信

当社では、1974年に環境関連部門を設置し、法規制の遵守という観点から大気・水質・騒音・振動・悪臭等公害防止に取り組んでまいりました。また、地球環境保全という観点からも、省エネルギー活動、廃棄物削減活動、有害物質の使用削減及び管理体制強化等に自主的に取り組んでおります。

同時に環境マネジメントシステムの構築をすすめ、ISO14001の第三者認証機関による認証取得を進めてまいりましたが、まず1999年8月に本社地区が、また2000年12月に小牧・宮之城・伊勢の3地区についても認証取得が完了し、これにより統一マニュアルによる国内4地区全てを包括する統合認証の取得を完了いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

今後は、環境ISOを取得するだけでなく、その仕組みを定着させるとともに環境保全活動を加速させて社会に貢献していくことが重要と考えています。

記

1. 認証範囲

- ・ 適用範囲 : スパークプラグ及び内燃機関用関連品、ニューセラミック及びその応用商品の研究・開発・設計、製造及び販売。
- ・ 認証対象 : 本社地区〔本社・本社工場、日特アルファサービス(株)〕
小牧地区〔小牧工場、セラミックセンサ(株)、(株)日特運輸〕
宮之城地区〔鹿児島宮之城工場〕
伊勢地区〔伊勢工場〕

2. 認証機関

テュフ・ラインランド社(本社：ドイツ連邦共和国ケルン市)

弊社各事業本部で取得済みの「ISO9001」、「QS9000」と同じ認証機関です。

3. 統合認証の目的

- ・ 企業理念、環境方針のサイト間の統一性
- ・ 企業倫理の透明性
- ・ 情報の一元管理(環境会計を含む)
- ・ 環境管理システム(EMS)の整合性
- ・ 認証の取得及び維持コストの軽減

4. 認証に至るまでの経過

- ・ 1998年 4月... 環境安全部設置と同時に認証取得のための調査開始
- ・ 1998年 7月... 本社地区 キックオフ
- ・ 1999年 8月... 本社地区 認証取得
- ・ 1999年 9月... 小牧地区、宮之城地区、伊勢地区 キックオフ
- ・ 2000年 12月... 小牧地区、宮之城地区、伊勢地区 認証取得(統合認証)

5. 今後の取得計画

既に海外の関連会社については、2000年5月に「米国センサー株〔米国バージニア州〕」、「ヨーロッパ特殊陶業株〔仏〕」が相次いで認証を取得しましたが、残る国内外の関連会社についても、2003年度末を目処に主要な関連会社より順次 認証取得を目指し、グループ全体のEMS構築を図ってまいります。

6. 今期上半期（'00/4～9月）に於ける主要な環境パフォーマンス

本社（本社及び四事業所）でEMSに基づく環境保全活動に取り組んだ結果、当期上半期実績として様々な成果を上げることができました。以下にその主要なものを記載いたします。

- ・ 省エネを推進し、エネルギー原単位 を（前期上半期比）22.1%削減いたしました。
- ・ 塩素系有機溶剤使用量を（前期上半期比）43.2%削減いたしました。
- ・ 廃棄物削減とリサイクルを推進し、（前期上半期比）廃棄物排出量を34.9%削減しその内、埋立て・焼却廃棄物は39.7%削減いたしました。

なお、廃棄物削減については、現在「焼却及び埋立て処分量を2005年度末までに1999年度比70%削減」の目標で活動していますが、計画を前倒しし、順次サイト毎に2003～2005年度末までにゼロエミッション達成を目指します。

〔 エネルギー原単位 = 付加価値生産額百万円当たりのエネルギー原油換算使用量（k l） 〕

<添付資料>

2000年度 環境報告書（ECO REPORT 2000） 1部

以 上

（お問い合わせ先）
 総務部・広報課
 環境安全部

TEL：052-872-5915
 TEL：052-872-5980